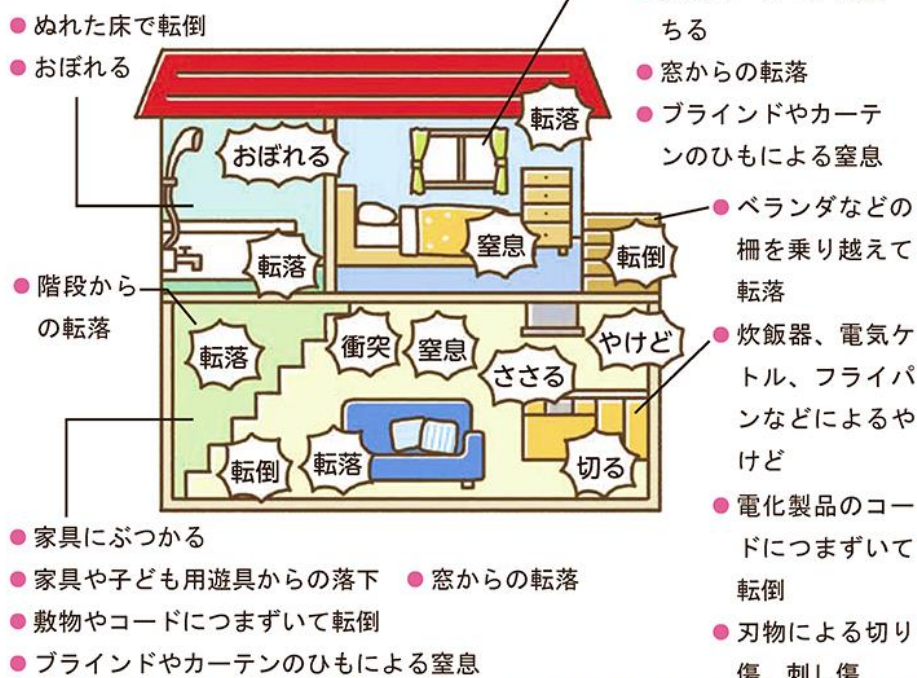


ご家庭での事故やケガへの注意は万全でしょうか？小さな子どもは、まだ何が危険かを予測することができず、好奇心旺盛で怖いもの知らずです。大人が、安全な環境を整えてあげましょう。

おうちの中の 危険 チェック！

体のバランスが悪く、運動機能も未発達な子どもたちは、何度も転んだりぶつかったりしながら成長していきます。とはいえ、命にかかわるようなけがは絶対に防がなければなりません。事故が多発するのは、外だけではなく家の中でも。子どもの目線で、家の中を見る習慣をつけましょう。

家庭で起こりやすい事故



登降園時の交通安全

子どもから目を離さないで！

交通事故は、保護者が近くにいるときにも起こります。散歩や買い物、登降園時には常に手をつなぎ、子どもが保護者から離れて歩くことがないようにしてください。

また、子どもを自転車や車から降ろした直後は、子どもから目を離さないでください。



子どもに教えないこと

- 1 歩く場所**
 - ・歩道または路側帯（白線の内側）を歩く
 - ・道路の右側を歩く
- 2 道路の横断の仕方**
 - ・信号の赤・青・黄の意味
 - ・信号機のない交差点の渡り方
- 3 標識の見方**
 - ・よく目にする標識や表示の意味
- 4 やってはいけないこと**
 - ・道路への飛び出し
 - ・道路での遊び
 - ・車のすぐ前や後ろの横断

